

メーデー万歳!

写真特集



←左は、いろんなデモや青空市場風景。

八一春闘をふり返って思う

港務所に働く一組員

手記

百四十五円と解決一時金人当たり三千元、家族手当第一順位六百四十五円が加わるという事で、炭労は六日目のストを中止。妥

金に替えてよ
いのかスト権

だが、われわれ三池炭鉱の労働

鉱山はもうまともなことを買ひとって、そして労働運動の外掘を埋めてしまった。

今も、三井鉱山・三井石炭がわれわれ炭鉱労働者に対する基本的な考え方は変わっていないことを改

差別と選別を巧みに利用してきた。三池炭鉱は、当時一般坑夫とは別に多くの囚人労働者を使役していたが、これが今日なお続けられている低賃金体制への重要な半ポイントとなすものである、ともいえる。

今怒りを燃やさねば

何を意味する三井の態度

期待に程遠い
賃上げ妥結額

公共料金をはじめとする諸物価の値上がりはひどく、われわれの家計は赤字の中で苦しんでいる。

結を決めた。
妥結は、われわれの要求には程遠いものであった。

者の主力は、新たに新労との統一行動を遂げようとして、さらに労働者をくわくうとしていた。

今怒りを燃やさねば
なければ……

とにかく今度の賃上げ闘争は終わったが、われわれは春闘で団結したエネルギーを、第七次石炭政策にかつて提出している要請事項を貫く闘いに向けて立ち上がらねばならない。それは、国民的課題でもある。

極めて控え目な要求を出していたのに、このゼロ回答は当然炭鉱労働者の怒りをかきた。

満額獲得までやめじとする、五日間にはわたった実力行使。一方四

歴史的に見ても、三池炭鉱労働者が現実生命をかけて闘い取ってきたスト権を、安易に金に替えたりしていいものだろうか。三井

思えば、明治四十四年に三井鉱山株式会社を設立して以来と組織の別なく今怒りに燃やさねばならない。新労の若手労働者の中には「オレ達の組合は、他人のふんどしで相撲をとる」続けているもん

われわれ三池炭鉱労働者は、組織の別なく今怒りに燃やさねばならない。新労の若手労働者の中には「オレ達の組合は、他人のふんどしで相撲をとる」続けているもん

とこの以上のお話、ちゅうど春闘のまっただなかのことだが、Gさんの意見にあるように「目玉」も取れん」にきまっています。それにも今第一の問題は、新労組が会社と締結している、平和協定（スト権を売り渡した）で、まずこれを撤廃すること。これこそが不幸のもとだから。

花見余談

あれ、何でチップをはずんだのかな?

花見の酒にすっかり酔った、職場のAさん、ハンゴ酒を回ったあと帰りにタクシーを呼ぶ。

Aさん「何はひびひよとな酒を回ったあと帰りにタクシーを呼ぶ。どうも、窓外の夜の街並がおかしい。

Aさん「いや、わかればよかった」

三川坑外職場の新聞、はく

二は欲しかくせにこれととして何の上がるか。会社は、生かさず殺さずの政策はん。

利子が減り物価は値上がり

取るためにはストだ

伝えた職場の声

Aさん どうせ世間、俺はでん、賃上げにボーン並み以下じゃ、ストしても取りやめもん、係長や係員にしても同じことわいわるはひい。

利子が減り物価は値上がり

あつてびびったのが「

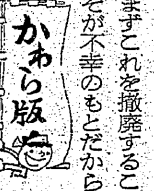
気をつけて帰る、料金を

三川坑外職場の新聞、はく

二は欲しかくせにこれととして何の上がるか。会社は、生かさず殺さずの政策はん。

利子が減り物価は値上がり

利子が減り物価は値上がり



利子が減り物価は値上がり

利子が減り物価は値上がり